

「好酸球の気道浸潤を伴う呼吸器疾患における炎症細胞の機能解析」 のお知らせとお願い

気管支喘息に代表されるアレルギー疾患は、医学の進歩にも関わらず、患者酸の数は増え続けており、医療経済的にも問題となっております。この問題を解決するためにも、アレルギー疾患の発症や重症化の機序を解明することは、より良い治療法の開発に役立つことが期待されます。好酸球は気管支喘息の気道内での炎症に重要な役割を担っている細胞であり、末梢血や喀痰中の好酸球数は病勢マーカーとして有用であり、好酸球を標的とした治療は有効性が示されています。しかしながら、気道内に存在する好酸球や同時に存在する炎症細胞がどのような性質を有しているかは十分に分かっていません。そこで当科では、気管支喘息や好酸球性肺炎に代表される好酸球の気道浸潤を伴う呼吸器疾患の患者さんの末梢血や気管支肺胞洗浄液を用いた研究を計画しております。具体的には診断のための検査として採取された気管支肺胞洗浄液の残余検体と末梢血を用いて、炎症細胞の特性を細胞表面マーカーの発現、蛋白質レベルの発現の解析と細胞機能の評価を行います。

本研究では、2018年10月1日から2023年3月31日までの間に診断のために必要とされる血液検査、気管支鏡検査における処置で得られた検体を利用します。検体を利用させて頂く検査については事前に十分に説明をさせていただきます。

患者さんの診療情報については、個人情報とは無関係な番号の付与により匿名化した上で管理を行うため、解析において個人情報が特定される事はありません。通常の診療と同様にプライバシーが保護されます。

本研究に関するご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて拒否の意思を表明されても、診療には全く影響はございません。いかなる場合においても不利益を被ることはありません。

連絡先：防衛医科大学校 内科学講座（感染症・呼吸器）助教 宮田 純
住所：〒359-0042 埼玉県所沢市並木 3-2
電話番号：04-2995-1211 内線 2762 (PHS 5669)